

ヒアリ類の水際防除

(1) 種名 (学名)

ヒアリ (*Solenopsis invicta*)

アカカミアリ (*S. geminata*)

共に特定外来生物 (平成 17 (2005) 年 4 月指定) (右写真はヒアリ)

(令和 2 (2020) 年にヒアリ、アカカミアリと形態的にも生態的にも類似しているヒアリ類 4 種群 (ヒアリ、アカカミアリを含め計 23 種) 及びその交雑種を指定)



(2) 生態の概要

- ・ 共にトフシアリ属 (*Solenopsis*) のアリで、強い攻撃性があります。
- ・ 刺された場合、体質によってはアナフィラキシー症状を起こす可能性があるなど、人体にとって危険な生物です。
- ・ 在来アリ類を駆逐するなど生態系への影響が懸念され、平成 17 (2005) 年に特定外来生物に指定されています。

① ヒアリ

- ・ 体長 2-6mm の主に赤茶色のアリで、働きアリの体サイズは小型から大型まで様々な大きさです (上写真参照)。
- ・ 高い採餌能力や防御物質の分泌、働きアリの侵略などにより、他種のアリと競合し駆逐する可能性があります。
- ・ 女王アリは一日に 2000~3000 個を産卵することが可能です。南米中部の熱帯原産ですが、亜熱帯、温帯でも生息が可能です。
- ・ 水に浮んで集団で移動するなど高い拡散能力があります。

② アカカミアリ

- ・ 体長 3-5mm の体色は赤褐色で頭部は褐色のアリです。働きアリの体サイズはヒアリ同様、様々です。

(3) 分布状況の概要

① ヒアリ

- ・ 南米中央部原産です。
- ・ 米国、オーストラリア、中国、台湾など環太平洋諸国に侵入、定着しています。
- ・ 国内での定着は確認されていませんが、平成 29 年 6 月に侵入が初確認されました。

② アカカミアリ

- ・ アメリカ合衆国南部、中米、南米北部、カリブ諸島原産です。
- ・ 熱帯域を中心に中国、東南アジアなど多くの地域に侵入、定着しています。
- ・ 国内では、硫黄島で定着しています。沖縄島、伊江島では確認の記録はありますが、定着していません。

(4) 中国四国地方環境事務所の取組

平成 29 (2017) 年に国内で初めてヒアリが確認されて以降、中国四国管内 17 港湾(注)で国土交通省、港湾管理者等の協力を得て、侵入監視調査を実施しています。

ヒアリが確認された場合には、事業者等と連携して速やかに防除を実施するとともに、必要に応じて確認地点周辺の調査を実施しています。

注：境港、浜田港、水島港、広島港、福山港、大竹港、徳山下松港、岩国港、三田尻中関港、宇部港、徳島小松島港、高松港、松山港、三島川の江港、今治港、高知港、下関港

表. 中国四国管内での確認状況 (平成 29 年度～令和 2 年度まで)

	ヒアリ	アカカミアリ
平成 29 年度	岡山県水島港、岡山県笠岡市、 広島港、広島県呉市	愛媛県四国中央市、山口県防府市、 広島市
平成 30 年度	広島港	愛媛県新居浜市、岡山県水島港
令和元年度	—	岡山県水島港
令和 2 年度	—	愛媛県松山港及び新居浜市、 岡山県水島港

(5) 他機関、NGO 等の取組

- ・ 国土交通省：全国 30 空港で確認調査を実施しています。
- ・ 農林水産省：植物検疫を実施する 156 の海空港で検疫時の目視確認・同定を実施しています。
- ・ 岡山県では独自に事業者や県民向けにヒアリ発見時の初期対応をまとめた「岡山県ヒアリ対応マニュアル」を作成しました。



https://www.pref.okayama.jp/uploaded/life/551929_4408596_misc.pdf

(6) 課題

港湾関係者への啓発は浸透してきていますが、コンテナを開封するのは輸入事業者であり、港湾から輸入事業者の敷地に搬入されてからの開封が多いことから、輸入事業者による監視体制のさらなる強化が重要です。

(7) その他 (参考文献、HP 等)

中国四国地方におけるヒアリ・アカカミアリの確認状況

http://chushikoku.env.go.jp/wildlife/m_3_1/hiari.html

ヒアリ同定マニュアル Ver.2.2

https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/file/hiaridoutei_Ver.2.2.pdf

ヒアリの防除に関する基本的考え方 Ver.3.1

https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/attention/file/hiariboujo_Ver.3.1.pdf